

西都原考古博物館少年団

宮崎県立西都原考古博物館少年団は、体験活動を通して古代の人々の生活や知恵を学び、考古学に関する興味・関心、文化財の保存と活用についての意識を高めることを主な目的に、活動します。

年間を通しての活動内容は、古代生活体験館でのものづくりや体験が主となります。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、人数や活動の制限、場所や内容の変更などを行いながら実施することになりますが、子どもたちの学びを止めることなく、新しい生活様式に沿った新しい少年団活動を行っていきたいと思います。

活動テーマは、「古代のくらしを楽しく学ぼう」です。県内の小・中学生が団員として6月から毎月1回、計9回の活動を行います。以下、活動の様子を紹介します。

第3回「まが玉をつくろう！」 令和4年8月14日(日)

第3回は、まが玉づくりです。古代生活体験館で体験できる、磨くだけのまが玉ではなく、四角い石にデザインするところから行いました。石に下絵を描き、砥石で少しずつ削って形を整えていきます。形が整ったら、紐通しの穴を開け、耐水ペーパーで磨き、布で仕上げ磨きをして完成です。一つとして同じものがない、自分だけのオリジナルのまが玉ができました。



世界に一つだけのまが玉ができましたね。

第2回「考古学って楽しい！」 令和4年7月30日(土) 中止

台風の影響のため、中止になりました。

第1回「博物館を探検しよう！」 令和4年6月26日(日)

博物館1階の多目的ホールで「結団式」を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催いたしました。本年度は40名(結団式の出席者は36名)で活動していきます！

式の後には、バックヤードツアーとして展示室や収蔵庫、保存処理室を見学しました。

コロナ禍の中、感染症拡大防止対策等で活動に制限が多くなりますが、思い出に残る1年間にするべく職員一同頑張ってもらいますので、どうぞよろしく願いいたします。



結団式



館内見学(収蔵庫・金属製品)



館内見学（収蔵庫・古人骨）



館内見学（保存処理室）

（全員マスク着用の上、エアコン・換気扇の稼働、窓などの開放、短時間での活動をしております。）